

- 中部、九州、中国地方の**14県20市町村へTEC-FORCEを派遣**。リエゾン活動、ドローン等による被災状況調査、排水ポンプ車による浸水排除などの自治体支援を実施。(一日あたり最大86人(7/8))
- 熱海市では、土砂災害専門家により**斜面の崩壊の危険性や雨天時の捜索活動を中止の判断基準等を助言**。溪流の最上流部(源頭部)等4カ所に監視カメラなどを設置し**監視体制を強化。関係機関へライブ映像を配信**。(7/4~)
ドローン班(4班16名)を投入し、安全かつ迅速な調査を実施。ドローン映像は、各機関とも共有。(一日あたり最大49人(7/7, 8))
- 大雨特別警報が発表された九州南部の大雨では、川内川沿川自治体の要請により**排水ポンプ車を派遣**。

・派遣人数
のべ **1,285**人・日
・災害対策用機械
のべ **211**台・日

■大規模土石流災害(熱海市)における活動

○捜索活動支援のため、監視カメラ設置による監視体制強化等を実施。



源頭部には、照明車を設置し、夜間でも照度を確保。



救助活動における二次災害防止のため、ドローン映像等を使い助言。

○土砂の堆積状況、周辺道路の被災状況調査を実施。県市等と共有。



逢初川で発生した土石流による土砂の堆積状況を調査。



静岡県、協力企業、自衛隊と合同で、道路の被災状況を調査。

■ドローンを駆使した迅速な被災状況の把握

○ドローンにより立入困難なエリアを迅速に調査



総勢4班を投入し溪流を調査(熱海市)



大雨特別警報当日、直ちに調査(鹿児島県伊佐市)

■排水ポンプ車による浸水排除

○降雨への備えを含め、一日最大8台派遣(7/10)



自治体の要請により排水活動(鹿児島県伊佐市)

■TECアプリの試行運用

○TECアプリにより、現地調査を効率化



iTEC(TECアプリ)を試行(熱海市、島根県内)